

昭和15年（紀元2600年）の奉祝記念事業の一環として整備。イチヨウ並木と古い街並みが一体となっている。



橿原市は大和平野の南部に位置し、平らな盆地に大和三山（畝傍・耳成・香久）が美しい姿を見せ、飛鳥川の流れる古くからの田園地帯である。

市の南部にある大和三山のひとつ畝傍山の付近は、特に建国にゆかりの深い地で、橿原神宮、神武天皇陵をはじめ、歴代の天皇陵や古墳などの史跡が密集

している。

昭和一五年、神武天皇即位紀元二六〇〇年を記念して、神宮の社殿や境内の整備が行われ、全国から約一五万本の献木がなされとともに、外苑に総合運動場・野外公堂・橿原会館・橿原公苑宿泊所などが建設された。

今日、橿原神宮前駅を降りると、畝傍山を背景にイチヨウ並木と古い街並みが一体となった、約三〇〇メートルの街路が続いており、その先に、紀元二六〇〇年当時に整備された参道の森約二八ヘクタールが広がっている。

この森を抜けるように、約二六〇〇メートルの並木道が市の中心部に向かっており、緑の参道として、地域住民や参拝客に広く親しまれている。

データボード②②

- ① 奈良県橿原市
- ② 橿原市役所 ☎0744-2-4001
- ③ 延長300m、幅員21m
- ④ イチヨウ並木